令和3年第11回安芸市農業委員会定例会議事録

1. 開催日時 令和3年11月25日(木)午後1時30分から2時45分

2. 開催場所 安芸市役所 二階 会議室

3. 出席農業委員(9人)

会長	1番	内川 昭二
会長職務代理者	2番	野町 亜理
会長職務代理者	3番	大久保暢夫
	5番	千光士伊勢男
	6番	野村 勉
	7番	樋口 なぎさ
	10番	福本 隆憲
	11番	西岡 大作
	14番	小松 豊喜

4. 欠席農業委員(5人)

4番	川島 一義
8番	西岡 秀輝
9番	有澤 節子
12番	山内 芳幸
13番	栗山 浩和

5. 出席農地利用最適化推進委員(6人)

伊尾木	黒岩	榮之
川北	中平	秀一
土居	入交	大輔
井ノ口	小松	昌平
畑山	小松	光正
赤野	大野	實

6. 議事日程

報告第1号	農地法第3条の3届出について
議案第2号	非農地証明願について
議案第3号	農地法第3条許可申請について
報告第4号	農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について
議案第5号	農地法第5条第1項許可申請について
報告第6号	農地法第18条第6項解約通知報告について
議案第7号	農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について

議案第 8 号 農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画による中間管理権
の決定について

報告第 9 号 農地中間管理事業法第 18 条第 7 項の農用地利用配分計画について
その他

7. 農業委員会事務局職員

事務局長 大坪 浩久
事務局次長兼振興係長 長野 顕文
事務局農地係長 弘井 恭介

8. 会議の概要

議長 これより本日の会議を開きます。議事に入る前に事務局が諸般の報告をいたします。

事務局長 本日の出席状況を報告いたします。委員定数 14 人、出席者数 9 人
であります。欠席委員は、4 番川島一義委員、8 番西岡秀輝委員、9 番
有澤節子委員、12 番山内芳幸委員、13 番栗山浩和委員で、所用のため
欠席との届出がございました。

次に事務の概要報告をいたします。

11 月 22 日に、高知市で高知県農業会議総会ならびに下期農業委員
会会長・事務局長会が開催され、内川会長、私が出席しております。

その会におきまして、福本隆憲委員と小松昌平委員が永年勤続農業委
員等として表彰されました。内川会長が受け取ってまいりましたので、
このあと表彰状の伝達を行います。

以上で、事務の概要報告を終わります。

引き続き、農業委員の永年勤続の表彰状の伝達を行います。表彰され
ました福本隆憲委員、小松昌平委員は、前の方へお願いします。

(表彰状の伝達)

議長 本定例会の日程は、本日 1 日限りといたしたいと思いますが、これ
にご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 異議なしと認めます。よって本定例会の日程は本日 1 日と決定いた
します。

会議規則第 21 条第 2 項の規定により、議事録署名委員に面岡大作
委員及び福本隆憲委員を指名いたします。

それでは、報告第 1 号、農地法第 3 条の 3 届出について、事務局が
説明をいたします。

事務局(長野) 議案書 1 ページになります。

報告第 1 号、農地法第 3 条の 3 届出についてですが、今回は 5 件届
出が出ています。相続等で農地の権利を取得した者は、農地が所在す

る市町村の農業委員会に届出しなければならなくなっているものです。

届出番号1番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり西浜、黒鳥の5筆で、面積は全部で480㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号2番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり港町2丁目の1筆で、面積は28㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号3番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり赤野乙の16筆で、面積は全部で12,251㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号4番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり港町2丁目、畑山丙の10筆で、面積は全部で1,282㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号5番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり川北甲の1筆で、面積は26㎡です。

時効取得により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第1号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(発言等なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは、報告案件ですので、了解していただきたいと思えます。

続きまして、議案第2号、非農地証明願についてを議題とし、事務局が説明いたします。

事務局（弘井） 議案第2号、非農地証明願について説明いたします。議案書は4ページをご覧ください。

申請番号1番、申請人、申請地は議案書記載のとおりで、登記簿地目は畑、面積は全部で809㎡となっております。

所在地の地図は5ページに掲載しております。市立伊尾木小学校の北東約450mの位置にある農地です。現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。

こちらは昭和45年頃、桧や杉を植林し山林となり現在に至っております。申請地に生えている木の状況を確認し、安芸市農業委員会の非農地証明書発行基準である15年以上を経過していて、非農地の証

明が可能であると判断いたします。

現地につきましては11月15日に内川昭二会長、野村勉委員、黒岩榮之委員に確認していただきました。

以上で説明を終わります。

議長 現地確認委員の報告は私が行ないます。野村勉委員もお願いします。

1 番内川委員 11月15日に弘井君と野村勉委員と黒岩榮之委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

6 番野村委員 11月15日に弘井君と内川昭二会長と黒岩榮之委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 他になければ、採決いたします。議案第2号、非農地証明願については、申請どおり認定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第2号、非農地証明願については、申請どおり認定することに決定いたしました。

続きまして、議案第3号、農地法第3条許可申請についてを議題とし、事務局が説明いたします。

事務局（長野） 議案第3号、農地法第3条許可申請について説明いたします。

議案書は6ページです。

申請番号1番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり伊尾木の7筆で、地目は田で、面積は全部で2,268.83㎡です。

売買による所有権移転の申請で、水稻を作付する予定をしております。所在地につきましては、8ページに地図がございます。

伊尾木岡集落西の県道大久保伊尾木線沿いの農地と伊尾木西組集落の北で大谷川の南にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

これらのことから、本申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

申請番号2番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり伊尾木の1筆で、地目は田で、面積は907㎡です。

売買による所有権移転の申請で野菜を作付する予定をしております。所在地につきましては、8ページに地図がございます。

伊尾木の太谷川と安芸川に挟まれた農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

これらのことから、本申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

なお、現地につきましては11月15日に内川昭二会長、野村勉委員、黒岩榮之委員に確認していただきました。

申請番号3番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり川北甲の1筆で、地目は田で、面積は2,454㎡です。

売買による所有権移転の申請で、水稻を作付する予定をしております。所在地につきましては、9ページの左に地図がございます。

川北西ノ岡集落の北にある川北由良谷地区ほ場整備区域内の農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

これらのことから、本申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

なお、現地につきましては11月12日に樋口なぎさ委員、中平秀一委員に確認していただきました。

申請番号4番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり栃ノ木の4筆で、地目は畑で、面積は全部で768㎡です。

売買による所有権移転の申請で、ユズが作付されております。所在地につきましては、9ページの右に地図がございます。

栃ノ木西地集落の北にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

これらのことから、本申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

なお、現地につきましては11月16日に小松豊喜委員、小松光正委員に確認していただきました。

以上で説明を終わります。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号1番と2番は私が行ないます。野村勉委員もお願いします。申請番号3番は樋口なぎさ委員、申請番号4番は小松豊喜委員、お願いします。

1番内川委員 11月15日に弘井君と野村勉委員と黒岩榮之委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

6番野村委員 11月15日に弘井君と内川昭二会長と黒岩榮之委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

7番樋口委員 11月12日に長野さんと中平秀一委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

14番小松委員 11月16日に長野君と小松光正委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第3号、農地法第3条許可申請については原案どおり認め、許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって議案第3号、農地法第3条許可申請は、原案どおり認め、許可することに決定いたしました。

続きまして、報告第4号、農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について、事務局が説明いたします。

事務局(長野) 報告第4号、農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について説明いたします。議案書は10ページです。

貸人、借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで西浜、黒鳥の14筆です。地目は田と畑で、面積は全部で8,650㎡となっております。

当初は平成23年11月30日から令和3年11月29日まで10年間の使用貸借権の設定がされていましたが、平成23年11月30日から令和13年11月29日までの20年間の使用貸借に変更する契約書が提出されたものです。なお、他の条件に変更はありません。以上でございます。

議長 ただいまの報告第4号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(質問、意見なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解していただきたいと思えます。

続きまして、議案第5号、農地法第5条第1項許可申請についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局(弘井) 議案第5号の5条申請について説明いたします。

議案書は11ページをご覧ください。

申請番号1番、譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、宝永町で、地目は田、面積は2,499㎡、転用目的は集合住宅の建築です。

場所は12ページに地図を掲載しています。併せて現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。場所は県営宝永団地の東約40mにある農地となっております。現地確認については10月13日に川島一義委員、野村勉委員、渡辺禎宏委員にさせていただいております。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第3種農地である

と判断しました。理由は、水道、下水道管の埋設された道路の沿道区域であり、かつ500m以内に市立安芸中学校と県立あき総合病院がある区域内にある農地のためです。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、借人は長年、瓦の製造及び販売を生業としてきたが、それだけでは経営が先細りとなっており、今後は経営の多角化も視野に入れる必要が生じていました。そのような状況で、会社役員が所有する農地を賃貸借契約し、アパート経営をすることとしたものです。当該申請地は国道の北側で周囲は県立あき総合病院、安芸中学校のほか様々な会社事務所、民家等が混在する地域のため集合住宅の建築に最適と判断したものです。他に適した用地が無いとのことで、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、預金通帳の写し及び融資証明書を確認し、資金面で問題はないと判断いたします。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類の確認の結果、転用は確実にされると判断いたします。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されていて、集合住宅用地として転用面積が妥当であると判断いたします。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の北側は市道を挟んで同意のある農地、南側は市道を挟んで公園、東側は同意のある農地、西側は宅地と同意のある農地です。生活雑排水は3棟とも敷地内に埋設する下水道管から申請地南側の安芸市管理の下水道管に接続します。雨水については、建物部分は集水桝及び雨水管を經由し安芸市管理の水路へ、建物以外の部分は、北半分は敷地内東のU字溝に集め北側の安芸市管理の水路へ、南半分は敷地内東のU字溝に集め南側の安芸市管理の水路へ排水します。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域内となっています。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内で、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

申請番号2番、譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、土居で、地目は田、面積は1,168㎡、転用目的は集合住宅の建築です。

場所は13ページに地図を掲載しています。併せて現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。場所は春日玉造集会所の南東約70

mにある農地となっております。現地確認については11月12日に福本隆憲委員、入交大輔委員にさせていただいております。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は、その他の農地（第2種農地）であると判断しています。理由は、甲種、第1種、第2種（オに規定するものに限る）、第3種のいずれの要件にも該当しない農地であるためです。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、譲受人は不動産賃貸業を営んでおり、そのノウハウがあります。高知市を中心に業務していましたが、これまでの経験から安芸市中心地への集合住宅建築を検討していました。この度、申請地に集合住宅建築の話があり検討した結果、当該申請地は国道の北側で市役所等官庁、土佐くろしお鉄道安芸駅も近く、周囲の住宅事情や交通の利便性等から集合住宅地に最適と判断し選定したものであります。他に適した用地が無いとのことで、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、融資証明書の写しを確認し、資金面で問題はないと判断いたします。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類の確認の結果、転用は確実にされると判断いたします。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されていて、集合住宅用地として転用面積が妥当であると判断いたします。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は同意のある農地、西側は市道を挟んで宅地、南側は市道を挟んで同意のある農地、北側は宅地と譲渡人の親族所有の農地です。生活排水は2棟を合流させ、排水管を經由し敷地南側の合併浄化槽で処理し、南側の市道側溝へ排水します。住宅部分の雨水は、住宅周囲の集水桝から雨水管を經由し西側から市道側溝へ排水し、西側駐車場の雨水は敷地内西側の市道側溝へ自然流入させ、中央及び東側駐車場の雨水は敷地内南側の集水桝を經由し市道側溝へ排水します。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

なお、栃ノ木堰土地改良区からは当該転用事業について異議がない旨の意見書が提出されています。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっております。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内で、農用地区域外となっております。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

申請番号3番、譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、土居で、地目は田、面積は503㎡、転用目的は集合住宅の建築です。

場所は14ページに地図を掲載しています。併せて現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。場所は県道黒岩東浜線の東側に面した農地となっております。現地確認については11月12日に福本隆憲委員、入交大輔委員にさせていただいております。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第3種農地にあたりと判断しています。理由は、街区に占める宅地の割合が40%を超える区域内の農地であるためです。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、譲受人は不動産賃貸業に興味があり、この度、建築業者から申請地に集合住宅建築の話があり、申請地や集合住宅の規模等を確認し、家族とも検討した結果、建築することとしました。当該申請地は国道の北側で市役所等官庁、土佐くろしお鉄道安芸駅も近く、周囲の住宅事情や交通の利便性等から集合住宅地に最適と判断し選定したものです。他に適した用地が無いとのことで、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、融資証明書の写しを確認し、資金面で問題はないと判断いたします。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類の確認の結果、転用は確実にされると判断いたします。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されていて、集合住宅用地として転用面積が妥当であると判断いたします。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は宅地、西側は県道を挟んで宅地、南側は同意のある農地、北側は宅地です。生活排水は集合住宅南側の生活排水管を經由し、合併浄化槽で浄化し、西側の安芸市管理の水路へ排水します。建物北側及び南側の雨水は、雨水枿及び雨水管を利用し、西側の安芸市管理の水路へ排水します。駐車場の雨水は、敷地中央に設置する自由勾配側溝から西側の安芸市管理の水路へ排水します。市道側溝への接続については安芸市建設課に事前協議済です。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっております。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内で、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

以上です。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号1番は、野村勉委員、申請番号2番、3番は、福本隆憲委員、お願いします。

6番野村委員 10月13日に弘井君と川島一義委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

10番福本委員 11月12日に弘井君と入交大輔委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします

2番野町委員 排水された水は、農業用水路に流れていくことはないのでしょうか。

事務局（弘井） 農業用の水路に流す場合は地元の改良区の同意をいただいております。

2番野町委員 生活排水を浄化して流すといっても、これだけ多くの転用がされていくと、その水を農業用にそのまま使うのは良いのかなと思います。

事務局（弘井） 浄化槽の水は適切に管理された状態では、きれいな水なので影響はないと思われます。また、側溝に排水を接続する際には、その管理者に許可をもらうようにしております。

事務局長 改良区によっては、用水と排水が別にある場合には排水へ流すようしているそうです。

2番野町委員 分かりました。

議長 他に意見等はありませんか。

（発言等なし）

議長 他になければ、採決いたします。議案第5号、農地法第5条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに賛成の方は挙手をお願いします。

（挙手全員）

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第5号、農地法第5条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに決定いたしました。

続きまして、報告第6号、農地法第18条第6項解約通知報告について、事務局が説明いたします。

事務局（長野） 報告第6号、農地法第18条第6項解約通知報告について説明いたします。議案書は15ページです。

賃貸人、賃借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで川北甲の1筆です。地目は田で、面積は3,000㎡となっております。

当初は平成29年5月1日から令和14年4月30日まで、令和2年8月1日から令和17年7月31日まで、それぞれ15年間の賃借権の設定がされていましたが、双方合意による解約の通知書が提出さ

れたものです。

以上でございます。

議長

ただいまの報告第6号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(質問、意見なし)

議長

質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解していただきたいと思います。

続きまして、議案第7号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局(長野)

議案第7号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について説明いたします。議案書は16ページになります。

申請番号1番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり東浜の農地1筆で、地目は田で、面積は446㎡です。水稻が作付されており、貸借期間は5年間で、賃借料は米1俵の現物払の条件で更新する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、17ページの左に地図がございます。マルナカ安芸店の北の方にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

申請番号2番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり川北乙の農地2筆で、地目は田で、面積は全部で1,943㎡です。

ナスを栽培しており、貸借期間は5年間で、賃借料は10a当たり米5俵代の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、17ページの右に地図がございます。江川公民館の北にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

申請番号3番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり僧津の農地1筆で、地目は田で、面積は576㎡です。

水稻を栽培しており、貸借期間は5年間で、賃借料は10a当たり米0.5俵代の条件で更新する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、18ページに地図がございます。僧津集落の北の方にある僧津地区ほ場整備区域内に位置する農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、

事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

以上、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画調査書に記載してあるとおり、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の要件を満たしていると考えます。

なお、現地につきましては、申請番号1番は川島一義委員、渡辺禎宏委員、申請番号2番は樋口なぎさ委員、中平秀一委員、申請番号3番は福本隆憲委員、入交大輔委員に確認していただきました。

以上でございます。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号2番は中平秀一委員、申請番号3番は入交大輔委員、お願いします。

なお、申請番号1番は事務局の報告のとおりです。

中平推進委員 11月12日に長野さんと樋口なぎさ委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

入交推進委員 11月12日に弘井さんと福本隆憲委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第7号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定については原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第7号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定については原案どおり決定いたしました。

続きまして、議案第8号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画による中間管理権の決定についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局(長野) 議案第8号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画による中間管理権の決定について説明いたします。議案書は19ページになります。農地中間管理事業を活用した案件となります。

申請番号1番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり川北甲の農地2筆で、地目は田と畑で、面積は全部で2,043㎡です。作物は転借人が果樹を栽培する予定をしております。貸借期間は15年間で、賃借料は畑が5,000円、田が10a当たり45,000円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、畑は20ページの左に地図がございます。川北東ノ岡集落と西ノ岡集落の間にある農地です。田は20ページの右に地図がございます。高知県農協あき東支所の東にある川北地区は

場整備区域内の農地です。

申請番号 2 番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり川北甲の農地 2 筆で、地目は田で、面積は全部で 1,937㎡です。

申請番号 3 番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり川北甲の農地 1 筆で、地目は田で、面積は 1,650㎡です。

作物は転借人が果樹を栽培する予定をしておりますして、貸借期間は 15 年間で、賃借料は 10 a 当たり 45,000 円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、20 ページの右に地図がございます。川北のメリーガーデンの南にある川北地区は場整備区域内に位置する農地です。

申請番号 4 番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおり井ノ口甲の農地 2 筆で、地目は田で、面積は全部で 6,224㎡です。

作物は転借人が水稲を作付する予定をしておりますして、貸借期間は 5 年間で、賃借料は 10 a 当たり 10,000 円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、21 ページの右に地図がございます。僧津集落の北にある井ノ口地区は場整備区域内に位置する農地です。

申請番号 1 番から 4 番は借受人が同じなので、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の判断につきましては一緒に行いますが、事前にお配りしています A3 サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

以上、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画調査書に記載してあるとおり、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画については、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の要件を満たしていると考えます。

なお、現地につきましては申請番号 1 番から 3 番は、樋口なぎさ委員、中平秀一委員、申請番号 4 番は、大久保暢夫委員、小松昌平委員に確認していただきました。

以上でございます。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号 1 番から 3 番は中平秀一委員、申請番号 4 番は小松昌平委員、お願いします。

中平推進委員 11月12日に長野さんと樋口なぎさ委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

小松昌平推進委員 11月15日に長野さんと大久保暢夫委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

 (発言等なし)

議長 他になければ、採決いたします。議案第8号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画による中間管理権の決定については原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

 (挙手多数)

議長 はい、賛成多数です。よって、議案第8号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画による中間管理権の決定については原案どおり決定いたしました。

 続きまして報告第9号、農地中間管理法第18条第7項の農用地利用配分計画について、事務局が説明をいたします。

事務局（長野）議案書22ページになります。

 報告第9号、農地中間管理法第18条第7項の農用地利用配分計画について説明いたします。

 貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり土居の農地2筆、地目は田で、面積は全部で2,436㎡です。水稻を作付する予定をしており、貸借期間は約3年間で、賃借料は10a当たり2,100円の条件で新規設定する計画です。このたび、10月26日付けで、高知県知事から賃借人が決定したことの通知が届きましたので、報告するものです。

 以上でございます。

議長 ただいまの報告第9号について、質問、意見等がございましたらよろしく願いいたします。

 (発言等なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは、報告案件ですので、了解いただきたいと思います。

 以上で、議案審議は終了いたしました。

 それでは、その他の件について、事務局から説明いたします。

事務局（長野）来月の定例会は12月24日の金曜日の午後1時30分より行いますので、出席をお願いします。

 なお、本日、定例会議事終了後に実施を予定しておりました農業者年金研修会につきましては来月に延期しますので、よろしく願いします。

事務局（弘井）委員の活動報告について、毎月提出する必要がありますので、まだ提出していない方は提出をお願いします。

 また、農業委委員会の手帳を皆さんの机の上においておりますので、委員会活動に活用してください。

議長 以上で本日の定例会日程はすべて終了しました。